

神社を地域の防災拠点に！

災害被災神社再建・地域復興プロジェクト 記者発表会 & フォーラムを開催

2月27日(木)東京国際フォーラム(東京都千代田区)にて、“災害被災神社再建・地域復興プロジェクト 記者発表会 & フォーラム”を開催致しました。当日会場には、関係者を含め総勢90名の方にご出席いただき、今回のフォーラムへの関心の高さを感じます。

地震などの災害で甚大な被害を負った神社を無償で再建・寄贈する「災害被災神社再建・地域復興プロジェクト」の第3弾の選定が終わり、本年度の実施神社が発表されました。東日本大震災の津波で社殿や境内の建物が流失した、宮城県名取市にある「閑上湊神社」(ゆりあげみなと・じんじゃ)です。震災直後から災害復旧事業が続けられていますが、9年を経過した現在もまだ予算のめどがたたず、社殿の建立ができない状況にありました。



■震災前の写真: 閑上湊神社(宮城県名取市)

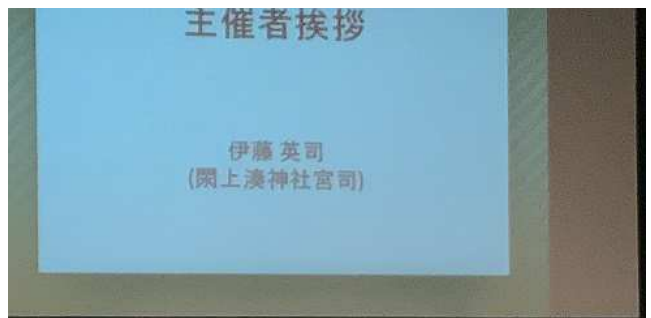


■震災後 鳥居跡から境内方向の写真: 閑上湊神社(宮城県名取市)

本プロジェクト実行委員会は、創建グループ、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会と再建対象神社の3者で構成されています。2018年の白山姫神社(熊本県)、2019年には諏訪神社(福島県)の無償再建を手掛けてきました。第3弾にあたる今回からは、国土強靱化、防災の新たなコンセプトでもある、神社・お寺を防災拠点にという取り組みをはじめ、再建した神社に「空気から水を創る」整水器など、さまざまな最新テクノロジーを施すことで、防災拠点としての神社の役割を持たせることになりました。

今回のフォーラムでは、このような新しい取り組みを「神社再建+最新防災テクノロジー」の記者発表と、「神社・お寺を防災拠点に!」というコンセプトのもと、ご出席いただいた皆様と共に議論しました。レジリエンスと防災の新たなステージについて考える最良の機会を得るフォーラムとなりました。

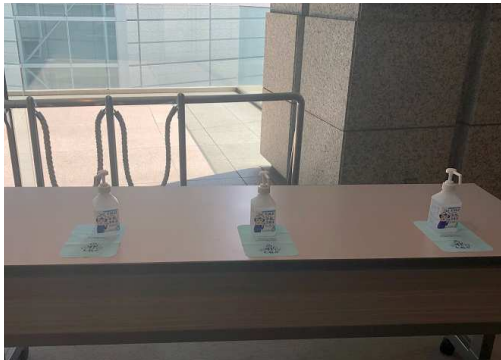
＜記者発表会＆フォーラムの様子＞



■フォーラムの様子



■伊藤 英司様(関上湊神社宮司)



←受付ではコロナウィルス感染予防 対策としてアルコール消毒液を準備。

【出席者】 (敬称略)

古屋 圭司(衆議院議員、初代国土強靱化担当大臣)
伊藤 英司(関上湊神社宮司)
横山 英子(元復興庁復興推進委員会委員)
河崎 悠有(株式会社アクアム 代表取締役社長)

上野 晃(株式会社セイクン代表取締役)
吉村 孝文(株式会社創建 代表取締役会長)
吉村 直巳(株式会社木の城たいせつ 代表取締役社長)、他